

仲尾台



- 学校運営協議会スタート
- 2018年度先生紹介

子どもの可能性を伸ばすための応援団発足！

～ 仲尾台中学校区 学校運営協議会がスタートしました ～

校長 平本 正則

仲尾台中学校区は、国公立学校が隣接している文教地域です。また、保護者・地域の皆さんも「学力向上」について関心が高く、学校教育に対する期待も大きいように感じます。子どもたちも、大変素直で授業にも集中して取り組むことができます。さらに、これからの時代に求められる資質・能力を身につけ、生涯にわたって学び続けることができるよう、よりいっそう主体的に学び、考え、判断して行動できる力を育成することを大切にしていきたいと思えます。

一方、学校は、社会環境が急速に変化している中で、学力向上をはじめ、いじめ問題や支援を必要としている子どもの増加、グローバル化や情報化、多様な価値観やニーズへの対応など様々な教育課題が山積みです。そのため、教員にはこれまで以上に高い専門性や実践力が求められています。

そこで、仲尾台中学校区ではこれらの課題を踏まえつつ、これからの時代に子どもたちが求められる力を育むために、今年4月に「学校運営協議会」を立ち上げ、継続的にチーム力生かして教育活動に取り組んでいます。

具体的には、日々の授業をはじめ学校の教育活動全体を見直し、教育内容や方法等の改善を図っています。また、同じ地域内に隣接する学校が校種の違いを超えてネットワークを作り、連携・協働することで地域全体の教育力を高めていきます。特に、今回設置する学校運営協議会を中心に、小中学校が義務教育9年間を見通した教育活動を推進し、子どもたちを育ててまいります。また、校種が異なる学校が相互に強みを生かし、連携・協働することで新たな教育活動を創造していきます。さらに、高度な専門性を必要とする課題については、それぞれの分野の専門家である学識経験者等が学校支援や人材育成などにおいて一定の役割を担い、組織的に課題に取り組みます。ぜひ、引き続き保護者や地域のみなさまの御理解と御協力をお願いいたします。

学校運営協議会とは

学校の応援団です！

保護者や地域住民、教育について高い専門性をもつ学識経験者などが一定の権限をもって学校運営等に参加し、地域に開かれた「信頼される学校づくり」を進めます。よりよい教育の実現に向けた活動を行う“チーム”が結成されました。



平成30年度 仲尾台中学校区 学校運営協議会委員

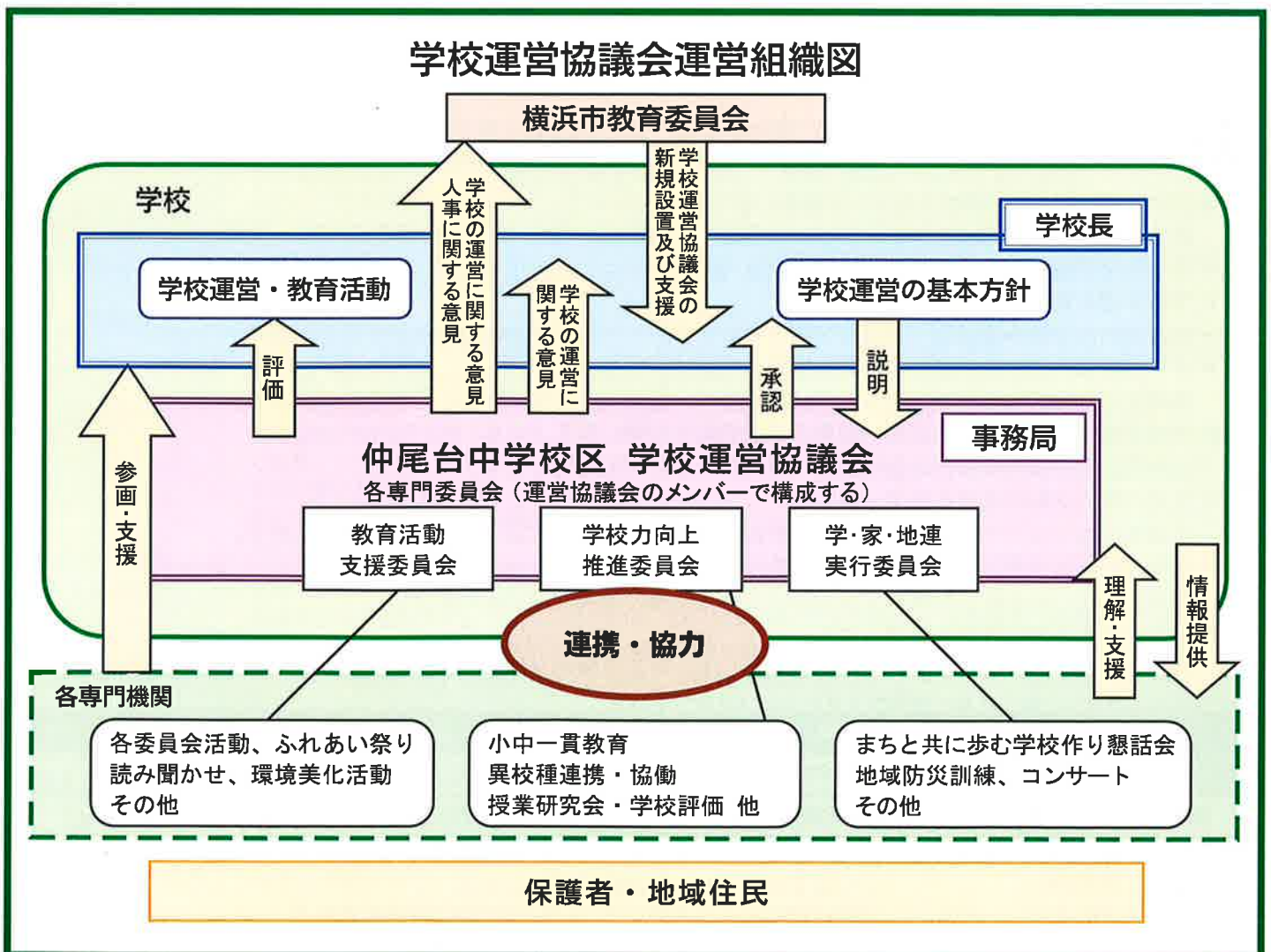
順不同 平成30年5月1日 現在

	氏名	参考
1	鈴木 敏夫	中区第3地区連合町内会会長
2	伊藤 正	中区第4北部地区連合町内会会長
3	守屋 孝	中区第6地区連合町内会会長
4	伊藤 武洋	横浜市立 立野小学校 PTA 会長
5	千野 光紀	横浜市立 山元小学校 PTA 会長
6	桑名 一央	横浜市立 北方小学校 PTA 会長
7	柳川 伸二	教育活動支援委員会委員長 横浜市立仲尾台中学校 PTA 会長
8	高木 展郎	横浜国立大学名誉教授 文部科学省中央教育審議会委員
9	小林 正稔	神奈川県立 保健福祉大学教授 横浜市いじめ問題専門委員他 秦野市・海老名市 同 調査委員会会長
10	泉 真由子	横浜国立大学教授 横浜国立大学学長補佐
11	吉原 昌子	横浜桐蔭大学客員教授 前 横浜市立義務教育学校西金沢学園校長

	氏名	参考
12	大内 美智子	横浜国立大学教授 元 横浜市立 立野小学校長
13	吉備 カヨ	元 横浜市教育委員 横浜市体育協会理事 スペシャルオリンピックス日本・神奈川理事
14	堀内 かおる	横浜国立大学教授 横浜国立大学教育学部附属横浜小学校長
15	工藤 誠一	聖光学院中学校高等学校理事長・校長 さゆり幼稚園理事長 神奈川県私立中学校高等学校協会理事長
16	大平 雅子	神奈川県立 横浜緑ヶ丘高等学校長
17	石田 薫	横浜市立 山元小学校長
18	寺園 淳	横浜市立 北方小学校長
19	石橋 孝重	横浜市立 立野小学校長
20	平本 正則	横浜市立 仲尾台中学校長

※子どものことが大好きなメンバーがボランティア精神のもと
お力添えくださっています

学校運営協議会運営組織図



平成30年度 横浜市立仲尾台中学校 学校経営方針

学校概要

創立56周年	学校長 平本 正則	副校長 山岸 和美
学期3学期制	児童・生徒数 395人	学級数 一般級：12 個別支援級：4
主な関係校：立野小、山元小、北方小		

6月7日現在

学校教育目標

「自らを律し、自立する生徒」(自律&自立)

具体目標

- 知** 学び方の基礎・基本を身に付け、自らの課題解決力を高めます。
- 徳** 社会の一員として、ルールを守ろうとする規範意識や思いやりの心を培います。
- 体** 基本的な生活習慣を自ら進んで実行し、健やかな体を育みます。
- 公** 地域に関わり、社会への関心を高めます。
- 開** 国際社会の発展に貢献しようとする力を養います。

学校の特徴

- ▶ 学区域は横浜開港史跡が多く、文明開化の先駆けとして発展してきました。近年もグローバル時代を身近に感じる事ができる地域です。
- ▶ 学区域は国公立学校が隣接する文教地域で、学校教育に対する保護者・地域の期待も大きいです。
- ▶ 小中ブロック内小学校からの進学が中心です。今年度から「小中一貫教育」を目指し、具体的な取組を推進します。
- ▶ 生徒会を中心とする自治活動など、生徒が主体的に考え、判断し、行動する教育活動を重視しています。
- ▶ 生徒が地域でボランティア活動を行う「ジュニアリーダー制度」があり、地域の一員として防災訓練等に参加しています。
- ▶ 地域やPTAの活動は盛んで、学校に対する協力体制も整っています。

学校経営取組目標

- ▶ 「信頼を基盤とした学校づくり」を推進します。
具体的には「わかる授業」に加えて「考える授業」を大切に、適切・的確な評価等を目指し、組織的に取り組みます。
- ▶ 学校教育目標「自律&自立」について生徒・保護者・地域と共有化を図り、目標達成に向けて取り組みます。
- ▶ 学校評価の充実を図ります。
具体的には生徒や保護者・地域を対象とするアンケート調査や学校間評価等を工夫します。
- ▶ チーム学校の活性化を通して、教育環境の充実に取り組みます。
具体的には学識経験者や地域コーディネーター・教育ボランティア等との協働を進めます。
- ▶ 学校運営協議会を中心に自主・自律の学校経営を推進します。
具体的には授業力や様々な教育課題への対応力等の向上を図ります。
- ▶ 生徒の自治活動の活性化を図ります。
具体的にはジュニアリーダー制度を効果的に活用し、自助・共助の防災意識等を高めます。
- ▶ 誰もが安心して豊かに過ごせる学校づくりを進めます。
具体的にはいじめ防止対策や**インクルーシブ教育**^{※注1}等の推進に取り組みます。
- ▶ グローバル人材の育成を推進します。
具体的には、JICAやYOKE等と協働して、新たな教育プログラム等の開発に取り組みます。

小中一貫教育の取組

関係校	仲尾台中学校、立野小学校、山元小学校、北方小学校
9年間で育てる子ども像	新学習指導要領への移行を視野に入れ、学区内小中学校で検討を進めています。
自校の具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自らを律し、自立する生徒の育成を目指し、9年間を見通した教育課程を編成します。 ○ 学校運営協議会の答申を受け、これからの時代が求める「資質・能力」を培う授業づくりを推進します。

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力 担当 学力向上 P	▶ 新学期指導要領への移行を視野に入れた学力向上策を推進します。	① 小中9年間を見通したカリキュラムマネジメントを構築します。 ② 「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりに向け小中授業研究会を実施します。 ③ 学力向上の観点から、全校での「朝読書」や学年単位で定期的に「放課後学習」を実施します。 ④ 授業改善の観点から数学で少人数指導を実施します。 ⑤ 総合的な学習のあり方を検討し、探求型学習活動の充実を図ります。
豊かな心 担当 人権道徳教育推進担当者会	▶ 道徳教育の充実に向け、組織的に取り組みます。 ▶ 「自律&自立」の意識を高め健全な心をもつ生徒集団を育みます。	① 相手を思い、自ら進んで挨拶（コミュニケーション）できる生徒を育みます。 具体的には生徒会主催の「あいさつ運動」を実施します。 ② 人に頼らず困難な課題に正面から向き合い、たくましく乗り越えていく力を培う場面を計画的につくります。
健やかな体 担当 体力向上推進 P	▶ 自他の生命を尊重し、健康な心と体を養います。 ▶ 基本的な生活習慣を自ら進んで実行し、健やかな体を育みます。	① 新体力テストの結果を基に、体力向上に向けて生徒一人ひとりの目標を定め、実践します。 ② 体育授業や部活動・体育大会等での活動を通して体力向上を図ります。また、原則週2日、部活動の休養日を設けます。 ③ 学校保健委員会（PTA 学習会）等において、健康の保持増進に関する取組を行います。
教育課程 担当 教育課程委員会	▶ 新学習指導要領への移行を視野に入れたカリキュラムマネジメントに取り組みます。 ▶ これからの時代が求める「資質・能力」を培う教育活動について研究を進めます。	① 小中一貫教育と教科横断を視野に入れたカリキュラムマネジメントに取り組みます。 ② 3年間を見通した新たな校外学習（体験学習・自然教室・修学旅行）に新1年生から取り組み、随時工夫改善を進めます。 ③ 教科指導における「主体的・対話的な深い学び」について組織的に授業研究を進めます。
いじめ問題 担当 いじめ対策委員会	▶ いじめ根絶に向けて、組織的且つ計画的な教育活動に取り組みます。	① いじめの定義や法的理解と共に、いじめを見抜く教師力の向上と支援体制の充実に取り組みます。 ② 学校教育目標「自律&自立」の取組の一環として、いじめ防止を位置づけ実践します。
特別支援教育 担当 特別支援委員会	▶ 個々の特性に応じた支援ができるよう、情報交換を定期的に行います。 ▶ 関係機関との連携を密に行い、丁寧な支援を行います。	① 特別支援教育委員会の定期開催と内容の充実を図り、支援を必要とする生徒に対する理解を深め、具体的な取組を推進します。 ② カウンセラーや区役所等の関係機関と定期的な連絡を取りながら、適切な支援方法を探ります。 ③ 横浜国立大学と連携し、「インクルーシブ教育」を推進します。
教育環境整備 担当 事務部	▶ 学習環境を見直し、生徒が目的に応じて有効活用できるようにします。 ▶ 生徒と向き合える時間を確保するため、継続的に業務改善を進めます。	① 情報機器を活用し、職員の情報の共有化を図ります。 ② 特別支援教室（ポブラ級）の設置や図書室の放課後活用等の充実を図ります。 ③ 生徒が情報機器を学習活動で効果的に活用できる機器整備に取り組みます。 ④ 校内の掲示物等を生徒会と連携し見直します。
地域連携 担当 生徒指導部	▶ PTA・地域と協働して取り組む「ふれあい祭り」の充実を図ります。 ▶ 職場・福祉体験・グローバル人材育成等で地域の教育力を活用します。 ▶ 社会に開かれた教育課程の、実現に向け、環境整備に取り組みます。	① PTAと学校地域コーディネーターの協力を得て「ふれあい祭り」の工夫・拡充を図ります。 ② 同窓会等の協力を得て職場体験の事業所の開拓を図ります。 ③ 地域防災拠点等における中学生の活躍の場面を具体的に検討します。 ④ 地域の教育力を積極的に活用するため「人財バンク」の設置に取り組みます。
人材育成・組織運営 担当 教務部	▶ 教員が学び続けることができる職場環境を構築します。 ▶ チーム力向上と教育の質保証に向け校内研修会の充実を図ります。	① 基本的には OJT で人材育成を行います。 ※注2 ② メンターチーム の研修を今後も継続し、経験の浅い教員の育成を図ります。 ※注3 ③ 学識経験者等と協働し、研究授業・校内研修を計画的に実施し、教師力の向上を目指します。 ④ これからの教員に求められる資質能力をテーマに小中合同研修会を実施します。

※注1 「インクルーシブ教育」：一人ひとりの子どもの持てる可能性を最大限に伸ばすことを目的として、障がいの有無にかかわらずに可能な限り同じ場で教育を受ける事ができる様にしようとする考え方。

注2 「OJT」：On the Job Training（職場内訓練・教育・研修）の略。主に職場において日常の仕事を通して、又は仕事に関連させながら意図的計画的に行う研修の事。

注3 「メンターチーム」：複数の知識や経験のある教員（メンター）と、複数の経験の浅い教員（メンティ）がチームを作って、学校の中で人材育成を行う環境。

年間行事

1 学期

4月	5	木	入学式・始業式・着任式
	6	金	離任式
	13	金	授業参観・懇談会
	17	火	全国学習状況調査 3年
	20	金	学校運営説明会・部活動説明会
	24	火	1年体験学習①(日本丸)
	25	水	1年体験学習②(日本丸)
5月	8	火	全国学習状況調査英語 3年
	10	木	2年遠足
	16	水	PTA 総会
	18	金	生徒総会
	20	日	日曜参観
6月	2	土	開港記念日
	3	日	～5(火) 3年修学旅行
	14	木	～15(金) 1学期期末テスト
	18	月	学習診断 (2, 3年)
	22	金	体育大会
7月	9	月	地区別生徒会
	10	火	～13(金) 三者面談
	20	金	1学期終業式

2 学期

8月	27	月	始業式
	28	火	横浜子ども会議
	29	水	～31(金) 生徒相談
9月	1	土	防災訓練
	12	水	～14(金) 2学期中間テスト
	27	木	市個別合同体育祭
10月	3	水	ふれあい祭り
	5	金	実用英語検定 3年
	10	水	～11(木) 個別級合同宿泊訓練
	12	金	児童生徒交流日
	19	金	文化祭
11月	7	水	市総合体育大会閉会式
	8	木	～9(金) 市学習状況調査 3年
	11	土	墓前祭
	14	水	～16(金) 2学期期末テスト
	27	火	福祉学習 1年
	27	火	～28(水) 職場体験 2年
12月	3	月	生徒会役員選挙
	4	火	～7(金) 進路面談 3年
	10	月	学校保健委員会
	11	火	～14(金) 三者面談 (1・2年)
	21	金	2学期終業式

3 学期

1月	7	月	3学期始業式
	8	火	～11(金) 生徒相談
	25	金	市個別合同同学芸会
2月	4	月	～5(火) 3年学年末テスト
	6	水	職業講話
	13	水	新入生説明会
	18	月	～20(水) 1・2年学年末テスト
	21	木	～22(金) 市学習状況調査 (1・2年)
3月	12	火	卒業式 (予定)
	14	木	授業参観・進路説明会
	25	月	修了式



発行者 横浜市立仲尾台中学校 PTA 広報委員会
2018年6月28日発行・印刷 (有)ワコー

※日程は変更することがあります。
詳細は学校からのお知らせをご覧ください。